

「古希期」 [!七十古希 apdf](#)

「喜寿期」 [「喜寿期」について](#)

賀寿期5歳層 その3

傘寿期 (80歳～84歳)

「傘寿」は数え80歳をいいます。ご存じのように傘の略字「傘」が八十と読めることから、80歳を「傘寿」と呼んでお祝をします。男性はどうやら平均寿命に達したところ、女性はゆうゆうクリアの年齢です。「やそ」と読めば作詞家の「西条八十」がしのばれます。八十は本名です。九（苦）はなくともよいという親ごころからの命名ということです。みなさんの愛唱歌である「青い山脈」「蘇州夜曲」「王将」など、軍歌では「同期の桜」の作詞者です。しかし西条八十は八〇歳まではとどかず、1970年に七十八歳で亡くなりました。昭和7年生まれ80歳には、2012年の総選挙で「暴走老人」として、東京都知事をやめて「日本維新の会」を率いた石原慎太郎氏がいます。作家の五木寛之氏は9月30日の同日生まれ。この年生まれの女性には、有馬稲子、伊藤絹子、岸恵子、樋口恵子、堂本暁子さんといったそうそうたる美女・才女が揃っています。

現代シニア用語事典・賀寿期五歳層

2012年では、

百寿期 (100歳以上)	大正元年以前
白寿期 (95歳～99歳)	大正6年～大正14年
卒寿期 (90歳～94歳)	大正11年～大正7年
米寿期 (85歳～89歳)	昭和2年～大正12年
傘寿期 (80歳～84歳)	昭和7年～昭和3年
喜寿期 (75歳～79歳)	昭和12年～昭和8年
古希期 (70歳～74歳)	昭和17年～昭和13年
還暦期 (60歳～69歳)	昭和27年～昭和18年

<注>平成24年は大正101年、昭和87年に当たります。

「平和団塊 (昭和21年～25年)」の呼びとがすべて還暦期に。

三世代年表

◇「高年期 (傘寿期)」(80～84歳) 人口は二〇一〇年一〇月一日。「国勢調査」総務省統計局

生年	干支	年齢	人口 (男・女) 万人	流行語・流行歌
一九三二	昭和	七 壬申	八〇傘寿 48・9	65・4 話せば判る。欠食児童。「影を慕いて」
一九三一	昭和	六 辛未	八一	45・1 62・4 生命線。酒は泪か溜息か。「サムライニッポン」
一九三〇	昭和	五 庚午	八二	40・6 58・4 エロ・グロ・ナンセンス。「祇園小唄」「曾長の娘」

一九二九 昭和 四 己巳 八三 37・2 56・0 大恐慌。大学は出たけれど。「東京行進曲」
一九二八 昭和 三 戊辰 八四 33・9 53・0 狭いながらも楽しい我が家。「波浮の港」「君恋し」

昭和シニア人名録

傘寿期（80歳～84歳）人名録 昭和7年～昭和3年

1928年（昭和3）年

大堀敦子（1・1 ピアニスト） 池田大作（1・2 宗教家） 岡井隆（1・5 歌人） 暉
峻淑子（2・5 生活経済） 増田義郎（2・17 文化人類学） 長沢和俊（2・28 東西交
渉史） 兼高かおる（2・28 旅行作家） 小島功（3・3 漫画家） 菊竹清訓（4・1 建
築家） 古在由秀（4・1 天文学） 久里洋二（4・9 アニメーション） 津村節子（6・
5 作家） 唯是康彦（8・13 食糧経済） 三浦文夫（社会保障・社会福祉） **五十嵐
喜芳**（9・8 音楽家） 富森叡児（9・20 ジャーナリスト） 羽仁進（10・10 評論家）
熊沢喜久雄（11・14 植物栄養学） 宮尾盤（11・27 地方財政） 土井たか子（11・30
政治家） 多木浩二（12・27 美術評論）

1929年（昭和4）年

加藤郁乎（1・3 俳人） 増田れい子（1・5 ジャーナリスト） 三遊亭圓歌（1・10 落
語家） 神山繁（1・16 俳優） 三木多聞（2・6 美術評論） 田沼武能（2・18 写真家）
西川杏太郎（3・9 日本美術史） 大塚正徳（3・10 薬理学） 三遊亭金馬（3・19 落
語家） 犬塚弘（3・23 俳優） 津本陽（3・23 小説家） **小沢昭一**（4・6 俳優） 永
井一正（4・20 デザイナー） 加賀乙彦（4・22 小説家） 鈴木道彦（4・26 フランス
文学） 奥平康弘（5・19 憲法学） 高橋治（5・23 小説家） 長野敬（6・6 生物学）
島田陽子（6・7 詩人） 栗田勇（7・18 フランス文学） 笹原正三（7・28 レスリン
グ協会） 磯村尚徳（8・9 ジャーナリスト） 早坂暁（8・11 小説家） 松下圭一（8・
19 政治学） サトウサンペイ（9・11 漫画家） 中江利忠（10・4 ジャーナリスト） 志
賀信夫（10・23 放送評論） 鈴木章夫（11・7 胸部外科学） 納谷悟朗（11・17 演出
家） 奈良岡朋子（12・1 俳優） 塚田理（12・31 神学）

1930（昭和5）年

辰濃和男（1・1 ジャーナリスト） 高橋信孝（1・3 農薬学） 菅野昭正（1・7 フラ
ンス文学） 森川俊夫（1・7 ドイツ文学） 我妻堯（1・9 母子保健） 野村万蔵（1・
10 狂言師） 三宅久之（1・10 政治評論） 東松照明（1・16 写真家） 不破哲三（1・
26 政治家） 大賀典雄（1・29 企業経営） 粕谷一希（2・4 編集者） 近藤淳（2・6
物性物理） 三輪秀彦（2・10 フランス文学） 荒瀬豊（2・15 マスコミ史） 飯島耕
一（2・25 フランス文学） 松山幸雄（4・1 ジャーナリスト） 竹村健一（4・7 評論
家） 秋山駿（4・23 文芸評論） 加藤秀俊（4・26 社会学） 坂根巖夫（4・27 科学

評論) 高橋英夫 (4・30 ドイツ文学) 板倉聖宣 (5・2 科学教育) 半藤一利 (5・21 作家論) 和田勉 (6・3 演出家) 阿部進 (6・11 教育評論) 妹尾河童 (6・23 舞台美術) 中島誠 (7・2 文芸評論) 秋谷栄之助 (7・15 宗教家) 高島忠夫 (7・27 俳優) 正木馨 (8・4 社会保険) 芦田淳 (8・21 服飾デザイン) 鈴木章 (9・12 化学者) 竹内宏 (9・13 経済評論) 有馬朗人 (9・13 原子核物理) 石川喬司 (9・17 評論家) 大山克巳 (9・30 俳優) 佐藤忠男 (10・6 映画評論) 野坂昭如 (10・10 作家) 渡部昇一 (10・15 評論家) 水尾比呂志 (11・7 造形学) 佐々淳行 (12・11 安全保障) 諸井誠 (12・17 作曲家) 小田島雄志 (12・18 演劇)

1931 (昭和6) 年

行天豊雄 (1・2 国際金融) 海部俊樹 (1・2 政治家) 明石康 (1・19 元国連事務次長) 小松左京 (1・28 作家) 牛尾治朗 (2・12 企業経営) 大岡信 (2・16 詩人・評論) 白石かずこ (2・27 詩人) 常盤新平 (3・1 翻訳家) 篠田正浩 (3・9 映画監督) 福原義春 (3・14 企業メセナ) 犬養智子 (4・18 評論家) 猪谷千春 (5・20 スキー) 野村万作 (6・22 狂言師) 磯崎新 (7・23 建築家) 山口昌男 (8・20 文化人類学) 鹿野政直 (8・20 歴史学) 岡野俊一郎 (8・28 サッカー) 山田洋次 (9・13 映画監督) 曾野綾子 (9・17 作家) 宇津井健 (10・24 俳優) 正村公宏 (11・15 経済学) 本多勝一 (11・22 ジャーナリスト) 谷川俊太郎 (12・15 詩人) 中村鴈治郎 (12・31 俳優)

1932 (昭和7) 年 **傘寿**

野末陳平 (1・2 政治家) 二上達也 (1・2 将棋棋士) 稲盛和夫 (1・30 実業家) 高階秀爾 (2・5 美術評論) 広岡達朗 (2・9 プロ野球) 袖井林二郎 (3・9 政治学者) 平岩弓枝 (3・15 作家) 真継信彦 (3・18 作家) 早乙女勝元 (3・26 作家) 大島渚 (3・31 映画監督) 有馬稲子 (4・3 女優) 富田勲 (4・22 音楽家) 矢野絢也 (4・27 政治家) 高井有一 (4・27 作家) 樋口恵子 (5・4 評論家) 渡部恒三 (5・24 政治家) 黒井千次 (5・28 作家) 藤井裕久 (6・24 政治家) 伊東絹子 (6・29 モデル) 内橋克人 (7・2 評論家) 堂本暁子 (7・31 千葉県知事) 岸恵子 (8・11 俳優) 小林亜星 (8・11 作詞・作曲) 杉浦康平 (9・8 デザイン) 小和田恆 (9・18 外交官) 石原慎太郎 (9・30 都知事・作家) 五木寛之 (9・30 作家) 三浦雄一郎 (10・12 スキーヤー) 森田実 (10・23 政治評論) 渡辺美佐子 (10・23 俳優) 仲代達矢 (12・13 俳優)